



着物の魅力を 多くの人に

全日本きもの装いコンテスト
世界大会女性の部で優勝にあたる「装いの女王」に選ばれた、鹿
児島純心女子大学4年生の藪谷
紗和子さんが5月16日(水)、森
卓朗市長を表敬訪問しました。
着物は、着ることで姿勢が良
くなるのが魅力。人の手を借り
ずに自分で着付けできる事をも
っと知ってほしい、と藪谷さん
8月からは、装道礼法きもの
文化使節団として、欧州各国を
巡り、日本の着物文化を世界に
発信していくそうです。

伝統の技を 未来へ継承

5月18日(金)、高江町の川内
川で、海洋木造和船「薩摩型船」
の進水式が行われました。
木造船が姿を消しつつある今、
船を本市に残すことと、その伝
統技術の記録保存を目的として
建造されたものです。長さ8m、
幅2.4m、重さ1.5トンの船
が川面に浮かぶと、参加者から
大きな拍手が送られました。
製作した山内伸雄さんは「で
きたのは師匠である橋口昌市さ
んの指導のおかげ、いいできで
す」と話していました。



ウミネコの 餌付けに挑戦

5月19日(土)、鹿島町東海岸
沖で、かしまウミネコまつりが
開催されました。
当日は、島外を含む約140
人が参加し、ウミネコの餌付け
体験・海鮮料理昼食会・抽選会・
磯遊びなどを思い切り楽しみま
した。
西海岸にある巨岩、大岩の連
なる鹿島断崖は、ウミネコの繁
殖南限地となっています。
しげのため断崖遊覧はできま
せんでしたが、さわやかな潮風
と波しぶきを満喫しました。



のんびりと されこうかい

5月20日(日)、隈之城地区コ
ミュニティ協議会が主催し、史
跡巡りと健康づくりを兼ねた
「隈之城をされこう(歩こう)会」
が開催されました。
地区から100人以上が参加
し、各地点ごとの史跡説明や、
都八幡神社までの道のりでは、
ごみ拾いも行いました。
天気にも恵まれ、さわやかな
気持ちのよい散策となりました。
ゴールした後、特賞として自
転車が当たる抽選会も行われ、
楽しい一日となりました。

